

# 健康増進広場具体的な施設イメージ ～公園から始まる健康・医療のまちづくり～

## ■基本コンセプト

「健康・医療」をキーワードに多世代が集い、交流できる公園となるよう、多様な公園利用者の視点から3つの基本コンセプトにより整備します。

### (1) 自然に健康を「意識」する公園

誰もが気軽に歩けるなど、健康づくりを始めるきっかけ（気づき）を盛り込みます。

### (2) 「楽しみ」ながら健康になれる公園

健康づくりを楽しみながら継続できる仕掛けを盛り込みます。

### (3) 健康のコツが「学べる」公園

更に健康増進につながるよう、健康づくりのちょっとしたコツから、専門的な知識まで公園内のサインや講座、健康スポーツ関連図書や映像等で学べる仕組みを盛り込みます。

## ■健康交流ゾーン

「コミュニティ育苗場」  
・種から花づくり等を行う育苗場  
・食・農のきっかけづくり

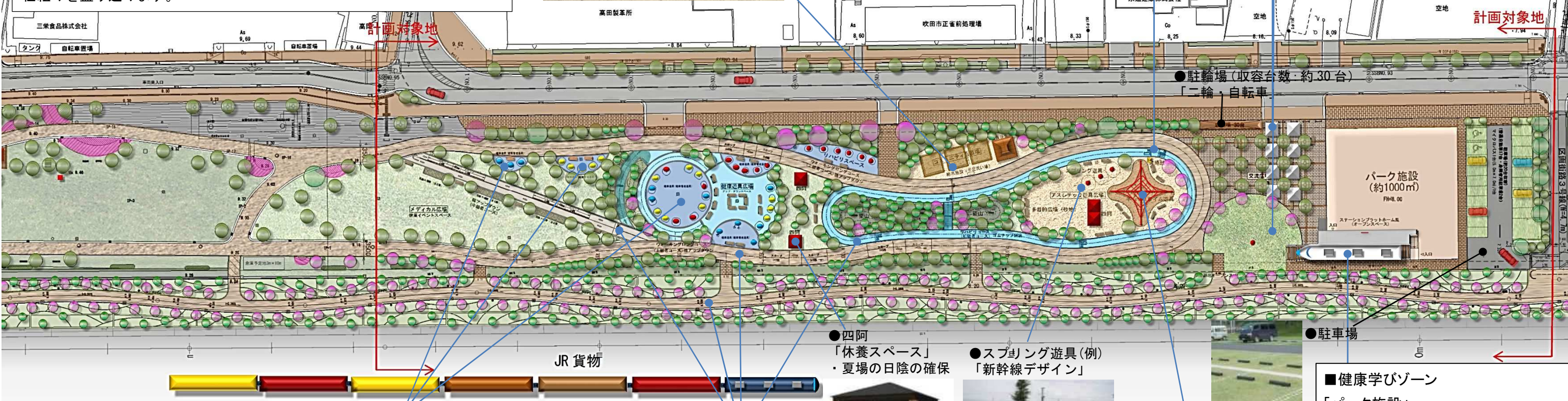


## ■健康交流ゾーン

「交流広場」  
・様々な人を対象としたイベントスペースとして利用  
・多世代・多様な人が交流



## ●大時計(例)



## ■健康運動ゾーン

「メディカル広場」  
・開放感のある多目的な広場  
・健康づくり等のイベント時に使用する野外ステージ



## ■健康運動ゾーン

「メディカルウォーキングコース」  
・公園のシンボルとして、国立循環器病研究センター等の医学的知見を生かした複数のウォーキングコースを設定  
・足にやさしいゴムチップ舗装のウォーキングコースの設置  
・ストレッチやリハビリなどにも使える多種多様な健康遊具等の設置  
・利用者が体力や身体の状態等に応じて選択できるコース等を設置



## ●四阿

「休養スペース」  
・夏場の日陰の確保



## ●スプリング遊具(例)

「新幹線デザイン」



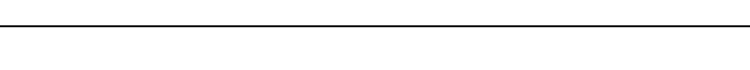
## ●ネットクライム遊具(例)

「こどもの体力向上」



## ■健康学びゾーン

「アスレチック系遊具」  
・子どもや大人、親子でも楽しめるアスレチック系遊具の設置  
・遊びの中から創造性向上が図れる遊具の設置



## ■健康学びゾーン

「パーク施設」  
・季節や天候を気にせず健康づくりができる多目的ルーム、公園事務所  
・健康・スポーツ・植物等の図書機能  
・栄養バランスや素材等にこだわった健康カフェ  
・ゼロ系新幹線の活用  
・ヘルスチェックコーナー

